平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月11日

上場会社名　株式会社 ストリーム　　上場取引所　東
コード番号　3071　URL　http://www.stream-jp.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 劉 海涛
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 竹下 謙治　TEL 03-6858-8189

四半期報告書提出予定日　平成24年6月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	6,200	△38.9	△121	―	△124	―	△182	―
24年1月期第1四半期	10,154	5.8	119	27.8	126	41.5	65	15.3

(注) 包括利益　25年1月期第1四半期　△134百万円　(―%)　24年1月期第1四半期　65百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	△4,578.44	―
24年1月期第1四半期	1,648.59	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年1月期第1四半期	5,603	1,598	28.2
24年1月期	5,696	1,732	30.1

(参考) 自己資本　25年1月期第1四半期　1,581百万円　24年1月期　1,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年1月期	―				
25年1月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,061	△21.7	△66	―	△74	―	△177	―	△4,453.70
通期	34,685	2.1	134	―	121	414.2	20	―	502.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期1Q	42,750 株	24年1月期	42,750 株
② 期末自己株式数	25年1月期1Q	2,953 株	24年1月期	2,953 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期1Q	39,797 株	24年1月期1Q	39,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
（４）追加情報 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 ……8
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年２月～４月）におけるわが国経済は、厳しい状況が続きながらも、東日本大震災の復興需要等を背景として国内企業の生産等は緩やかに回復しつつあり、景気の持ち直しが期待されております。しかしながら欧州金融危機の長期化による世界経済の下振れ等から、景気下押しのリスクは残り、全体としては不透明な状況で推移しております。

このような経済環境の中、インターネット通販事業におきましては、家電エコポイント制度や地上デジタル放送への完全移行等の駆け込み需要による反動が続き当社の収益に大きく影響しており、同事業の売上高は前年同四半期比3,626百万円減(39.1%減)と厳しい結果となりました。

商品別の収益動向としましては、先述の影響から薄型テレビの販売が前年同四半期に対して1,114百万円減少し収益下落の主因となった他、関連商品であるレコーダーの販売も前年同四半期比79.0%減の76百万円と大幅に下落しました。その他の当社主力取扱商品に関してはノートパソコンの販売が前年同四半期比34.5%減の595百万円となり、市場におけるタブレット端末やスマートフォンの販売が伸びていることによる影響もでてきていると思われます。

一方で省エネ関連商品として注目されている照明機器の販売は、前年同四半期比90.8%増の120百万円となり好調に推移いたしました。

このような状況の中、当社の主力サイトであるｅｃカレントにおいては、複数商品を購入する際の割引サービスや大型家電のスピード設置等のサービス強化、又、休眠顧客の掘り起こしやメールによる商品案内の強化等の販売促進に取り組みましたが、事業全体の大幅な減収をカバーするには十分ではありませんでした。

費用面におきましては、売上減に伴う物流費用や外部サイトの展開による広告宣伝費用の減少があったものの、物流倉庫の家賃等が前年同四半期比で増加していることもあり、販売管理費全体として前年同四半期比78.1%、183百万円の減少に留まり、インターネット通販事業の減収をカバーすべく費用を抑制することはできませんでした。

その結果、インターネット通販事業における売上高は5,653百万円（前年同四半期比39.1%減）、営業損失93百万円（前年同四半期は113百万円の営業利益）となりました。

インターネット通販事業の売上・来店客数推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	来客数(千人)	受注件数(千件)	会員数(千人)
当第１四半期連結累計期間	5,653	△93	11,336	253	6,335
前第１四半期連結累計期間	9,279	113	32,845	382	5,441

	家電	パソコン	周辺／デジカメ	その他	合計
当第１四半期連結累計期間	2,833	700	1,210	908	5,653
前第１四半期連結累計期間	5,276	1,099	1,747	1,155	9,279

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

※会員数は顧客情報を登録頂いている顧客数の累計です。

その他事業につきましては、主要取扱商品である太陽光関連のバックシートが欧州経済の不調の影響から販売が低迷し、市場における販売価格の下落や過剰在庫の処分等から、販売は前年同四半期比45.0％と大幅に落込みました。

食品関連では、トレハロースが中国への禁輸解消後、順調に販売が回復しつつあり、又、塗料関連では、中国国内での自動車関連企業との取引が増加し、前年同四半期比115.0％になる等、好調に推移しましたが、先述の太陽光関連の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

その結果、その他事業における売上高は547百万円（前年同四半期比37.5％減）、営業損失は28百万円（前年同四半期は６百万円の営業利益）となりました。

なお、平成24年２月に判明した過年度の不適切な会計処理に関連した調査費用等として、特別損失に61百万円を計上しております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高6,200百万円（前年同四半期比38.9％減）、営業損失121百万円（前年同四半期は119百万円の営業利益）、経常損失124百万円（前年同四半期は経常利益126百万円）、四半期純損失182百万円（前年同四半期は65百万円の四半期純利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、5,603百万円となりました。これは主に、差入保証金73百万円増加、前払費用の増加等による流動資産「その他」50百万円増加、売上減等による受取手形及び売掛金249百万円減少によるものであります。

（負債の部）

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、4,004百万円となりました。これは主に、未払法人税等91百万円減少、未払金の減少等による流動負債「その他」90百万円減少、短期借入金303百万円増加によるものであります。

（純資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し、1,598百万円となりました。これは主に、四半期純損失182百万円の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、398百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、40百万円（前年同四半期は263百万円増加）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額341百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失185百万円、仕入債務の減少額112百万円、法人税等の支払額91百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、98百万円（前年同四半期は78百万円使用）となりました。支出の主な内訳は、差入保証金の差入による支出74百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、167百万円（前年同四半期は260百万円増加）となりました。収入は、短期借入金の純増額273百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出43百万円、社債の償還による支出61百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年１月期の業績予想に関しましては、平成24年３月26日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	366,765	398,250
受取手形及び売掛金	2,151,255	1,902,197
商品	1,781,962	1,806,720
その他	345,408	396,243
貸倒引当金	△2,618	△2,618
流動資産合計	4,642,774	4,500,794
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,968	1,764
車両運搬具（純額）	16,425	15,331
工具、器具及び備品（純額）	83,211	79,128
建設仮勘定	2,939	－
有形固定資産合計	104,545	96,225
無形固定資産		
ソフトウエア	285,269	371,435
のれん	141,787	125,053
その他	106,872	12,244
無形固定資産合計	533,929	508,733
投資その他の資産		
投資有価証券	76,868	84,168
出資金	35,284	37,497
差入保証金	270,594	344,537
その他	32,095	31,372
投資その他の資産合計	414,843	497,576
固定資産合計	1,053,318	1,102,534
繰延資産		
社債発行費	190	－
繰延資産合計	190	－
資産合計	5,696,283	5,603,328

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年４月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,936,028	1,901,977
短期借入金	958,530	1,261,923
1年内返済予定の長期借入金	185,600	189,000
未払法人税等	98,546	7,331
賞与引当金	13,470	13,250
ポイント引当金	5,466	4,425
その他	340,067	249,185
流動負債合計	3,537,710	3,627,093
固定負債		
長期借入金	252,700	206,300
その他	173,592	170,976
固定負債合計	426,292	377,276
負債合計	3,964,003	4,004,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	619,625	619,625
資本剰余金	559,625	559,625
利益剰余金	783,461	601,252
自己株式	△182,230	△182,230
株主資本合計	1,780,480	1,598,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,316	△11,167
為替換算調整勘定	△47,431	△5,423
その他の包括利益累計額合計	△64,748	△16,591
新株予約権	2,152	3,074
少数株主持分	14,395	14,161
純資産合計	1,732,280	1,598,958
負債純資産合計	5,696,283	5,603,328

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）
売上高	10,154,404	6,200,594
売上原価	9,133,523	5,619,427
売上総利益	1,020,880	581,167
販売費及び一般管理費	901,362	703,127
営業利益又は営業損失（△）	119,518	△121,959
営業外収益		
受取利息	174	125
為替差益	7,986	9,181
受取手数料	550	237
その他	1,564	283
営業外収益合計	10,275	9,828
営業外費用		
支払利息	1,974	12,190
その他	887	229
営業外費用合計	2,861	12,419
経常利益又は経常損失（△）	126,932	△124,551
特別損失		
災害による損失	5,689	－
過年度決算訂正関連費用	－	61,335
特別損失合計	5,689	61,335
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	121,243	△185,886
法人税等	54,949	△3,485
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	66,293	△182,401
少数株主利益又は少数株主損失（△）	684	△193
四半期純利益又は四半期純損失（△）	65,608	△182,208

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	66,293	△182,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,758	6,148
為替換算調整勘定	10,758	42,008
その他の包括利益合計	△1,000	48,157
四半期包括利益	65,293	△134,244
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,608	△134,050
少数株主に係る四半期包括利益	684	△193

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年２月１日 至 平成23年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	121,243	△185,886
減価償却費	36,749	40,996
のれん償却額	16,734	16,734
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△64	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	19,203	△595
ポイント引当金の増減額（△は減少）	1,155	△1,041
受取利息及び受取配当金	△174	△125
支払利息	1,974	12,190
売上債権の増減額（△は増加）	86,083	341,150
たな卸資産の増減額（△は増加）	△111,512	14,688
仕入債務の増減額（△は減少）	366,444	△112,574
その他	△164,042	△62,553
小計	373,796	62,983
利息及び配当金の受取額	182	133
利息の支払額	△4,170	△12,169
法人税等の支払額	△106,629	△91,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	263,179	△40,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150	－
有形固定資産の取得による支出	△533	△109
無形固定資産の取得による支出	△57,886	△23,445
投資有価証券の取得による支出	△10,123	－
差入保証金の差入による支出	－	△74,973
その他	△9,731	326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,425	△98,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	147,938	273,532
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△6,800	△43,000
社債の償還による支出	△57,750	△61,250
配当金の支払額	△22,444	△9
その他	－	△1,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	260,944	167,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,504	3,020
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	449,203	31,484
現金及び現金同等物の期首残高	464,222	366,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	913,425	398,250

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年２月１日　至　平成23年４月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,279,715	874,689	10,154,404	―	10,154,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	9,279,715	874,689	10,154,404	―	10,154,404
セグメント利益	113,121	6,397	119,518	―	119,518

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年２月１日　至　平成24年４月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,653,477	547,116	6,200,594	―	6,200,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	5,653,477	547,116	6,200,594	―	6,200,594
セグメント損失（△）	△93,477	△28,481	△121,959	―	△121,959

(注)セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。